

平成29年 1月14日

東海実務補習所  
2016年期補習生各位

実務補習機関  
一般財団法人会計教育研修機構  
東海実務補習所

## 第1回ディスカッションテーマについて

平成29年1月21日（土）開催

平成29年1月21日（土）に開催する「第1回ディスカッション」のテーマが、下記のように決定したので、記載のテーマについて各自自身の考えをまとめてくるようにしてください。

テーマに関する資料は各自で集めてくるようにしてください。

ディスカッション当日は、4名～6名でグループ分けを行い、グループ内で討議した成果を発表し、それに対し東海実務補習所運営委員がサポートや演習点の採点を行います。なお、ディスカッションのグループ等は当日発表します。

また、実務補習規程第10条に規定されているように、ディスカッション単位を修業年限中に「15単位」以上（※J2, J3で開催のゼミナール単位を3単位以上含む事。）取得することが必要です。（早めに取得しておいた方が楽ですよ。）

～お願い：欠席について～

当日はグループ分けをして運営しますので、ご欠席予定の方は1月19日までに、事務局へその旨を記載した欠席届をご提出ください。

よろしく願いいたします。

東海会事務局 木野瀬

## 第1回ディスカッションテーマ

### 【テーマⅠ】

財務諸表監査は監査対象である財務諸表が適正に作成されているかどうかについて、作成者から独立した監査人が、会計・監査の専門家として意見表明することを目的として行われます。

意見を表明するにあたって独立した監査人により判断が行われることが、監査意見に対する利用者の信頼の基礎となっています。したがって、監査人の独立性に疑問がもたれるようなことがあれば、監査に対する信頼は失われることとなります。

#### <Q1>

独立性とはどのようなものでしょうか。また、独立性を阻害する要因とはどのようなものが考えられますか。

#### <Q2>

公認会計士は監査において常に独立性を保持することが求められますが、ときにはクライアントから以下のようなことを言われることがあります。それぞれのケースにおいて、あなたはどのような対応をすべきと考えますか。（あなたが監査責任者であった場合を想定してください）

- ① 「決算が終了した慰労を兼ねて、今度飲みに行きませんか？近いうちに経理部の新年会があるので、今後のお世話になる意味も込めていかがですか？」
- ② 「当社は当期より連結財務諸表を公表しますが、それが作成できる経理人員がおりません。このままでは決算発表に間に合わなくなります。会計士さんにもお手伝いいただけませんか？」

#### <Q3>

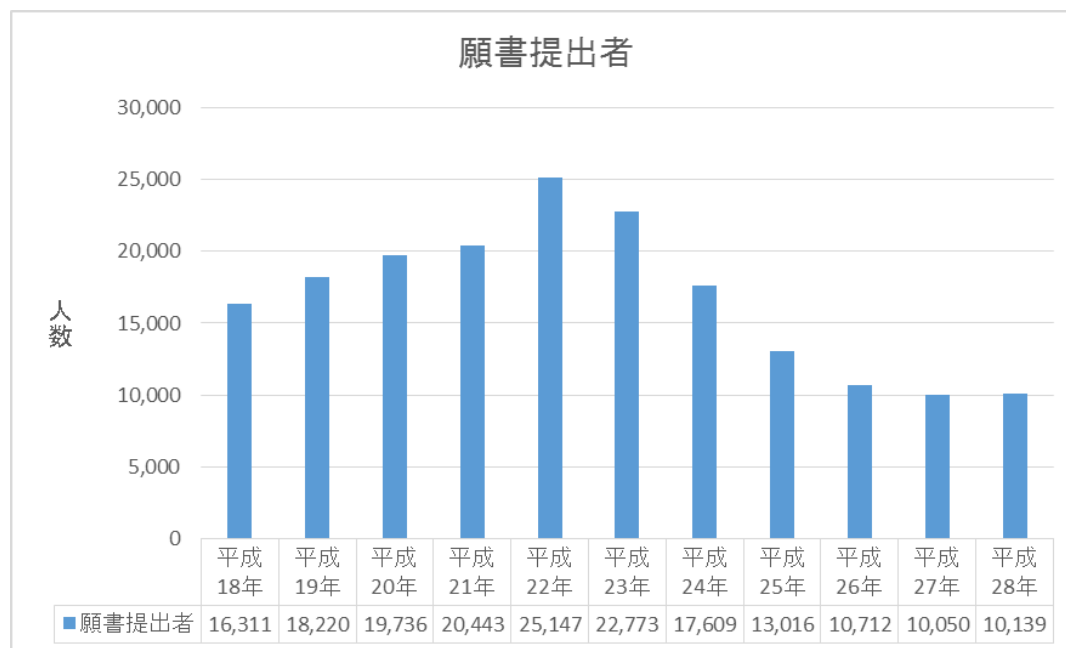
日本では公認会計士法や倫理規則において独立性についての規定があります。あなたは以下の場面では独立性が保持されると考えますか。保持されると考える場合はその理由、保持されないと考える場合はその理由及びいかなる対応が考えられるかも含めて考えて下さい。

- ①特定の監査人が長期に渡り、監査を継続的に行っているという場面
- ②監査報酬を企業が監査人に直接支払っているという場面

## 【テーマⅡ】

公認会計士試験の受験者数（願書提出者数）は、平成 28 年度は下げ止まりを見せたものの、平成 22 年度をピークに減少傾向にあり監査現場における人手不足が深刻化しています。

また、相次ぐ不正事例等から、社会の監査業界に対する目は厳しく品質改善・信頼回復に向けた動きが強まる一方、監査への期待水準は高まり続けています。



出典：平成 28 年公認会計士試験合格者調（公認会計士・監査審査会）

注：願書提出者は、旧 2 次試験合格者等の短答式試験みなし合格者を除いたものであり、当該試験年の短答式試験受験者のほか、前年又は前々年の短答式試験合格による短答式試験免除者並びに司法試験合格者等の短答式試験免除者を合計したものの。

### < Q 1 >

公認会計士を目指す人が減少しているのはなぜだと考えますか。

また、今後公認会計士試験の受験者数は増加すると思いますか、減少すると思いますか、その理由も添えて考えて下さい。

### < Q 2 >

公認会計士が提供できる①社会から期待されている業務、②魅力のある業務にはどのようなものがありますか。この 2 つの観点から考えて下さい。

## 【発表事項】

テーマⅡのように厳しい環境下におかれている中で、あなたはどのような理想の公認会計士像を持ち目指しましたか。

また、あなたが思う公認会計士になるためには、今後どのような意識・努力が必要であると考え

ますか。

以 上